

急性脳炎・無菌性髄膜炎

急性脳炎（5類全数報告）無菌性髄膜炎（5類定点報告）は、主としてウイルスによって引き起こされる臨床上重要な疾患です。埼玉県衛生研究所では、医療機関から報告され検体が提供されたこれらの疾患患者の咽頭拭い液、髄液、便等の検体から、症状などを考慮し種々のウイルス病原体検索を行っています。当所における2014年1月から2017年8月までのウイルス検出状況を下表に示しました。この期間に特定のウイルスの流行は認められず、ヒトヘルペスウイルス6などのヘルペスウイルス科、コクサッキーウイルス、エコーウイルスなどのエンテロウイルスやパレコウイルスを中心に様々なウイルスが検出されました。また、直近の2017年8月に、無菌性髄膜炎1症例からエンテロウイルス(EV)71が検出されました。EV71は、手足口病の原因ウイルスとして知られていますが、中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いとされ、注目すべきウイルスです。

急性脳炎、無菌性髄膜炎と診断・報告された場合には、原因ウイルス把握のため、検体採取にご協力くださいますようお願い申し上げます。

表 急性脳炎及び無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出状況(症例数)
(2014年1月～2017年8月 埼玉県衛生研究所)

年	急性脳炎				無菌性髄膜炎			
	2014	2015	2016	2017	2014	2015	2016	2017
患者報告数*	21	24	26	15	-	-	-	-
検査症例数	15	16	15	15	9	12	19	13
検出症例数	5	6	9	7	5	6	12	7
検出ウイルス								
インフルエンザウイルスA型				1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09			2					
インフルエンザウイルスB型			2					
RSウイルス	1	2						
ムンプスウイルス				1			3	
単純ヘルペスウイルス1型		1						1
ヒトヘルペスウイルス6	2		1					
ヒトヘルペスウイルス7			1	2				1
水痘帯状疱疹ウイルス			1			1		1
サイトメガロウイルス							1	
EBウイルス			1	1			1	2
コクサッキーウイルスA4			2					
コクサッキーウイルスA16		1						
コクサッキーウイルスB2							1	
コクサッキーウイルスB3					2		1	
コクサッキーウイルスB5					1		1	
エコーウイルス3								1
エコーウイルス6						1	5	
エコーウイルス9						1		
エコーウイルス11					1			
エコーウイルス18						2		
エコーウイルス30						1		
エンテロウイルス71								1
エンテロウイルスnot typed					1		2	
パレコウイルス3型	1			2				
ライノウイルス							1	
ロタウイルス(A群)	1							1
アデノウイルス		2	2					

*無菌性髄膜炎の患者報告数は定点報告であるため、記載していない